

## 8-6-1 RCCM資格制度委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) RCCM 資格制度委員会の開催

委員会開催回数： 10 回（4 月～3 月）

#### (2) 講習会 WG —更新講習会の Web 化—

当初、令和 2 年度は集会形式と Web 講習の併用の予定であったが、コロナ禍の影響により、全て Web 講習に「完全移行」した。

Web 講習の実施に向け、4 月より講師に対し Web 化の意向を確認し、24 名の講師から協力が得られ、7 月から Web 講習のコンテンツ制作を開始。10 月からの Web 講習を行い、Web 講習へ完全移行した。

#### (3) 技術者資格 WG —国交省技術者資格登録制度への対応—

##### ① 技術者資格登録申請

平成 27 年度に新規登録（5 年に 1 度の登録更新が必要）した点検・診断等業務および計画・調査・設計業務「19 施設分野・21 業務」（延べ「RCCM23 技術部門」）の登録更新申請を行った。申請の内訳は次のとおり。

##### a) 点検・診断等業務

診断業務として「土木機械設備」の 1 施設分野・1 業務。

##### b) 計画・調査・設計業務

計画・調査・設計業務として「都市計画及び地方計画」「河川・ダム」「道路」「港湾」など 18 施設分野・20 業務。

申請にあたっては、当委員会、技術部会技術委員会、インフラ研および事務局が協働し迅速かつ円滑に実施した。

##### ② 登録更新申請の結果

申請について、「登録の要件等」に対する適合の判定および登録の適否について審査され、全て「適格」と判定され登録が更新された。

次年度（令和 3 年度）は、平成 28 年度の登録分野がなかったため更新登録申請の予定はない。

ただし、新たに追加公募があった場合には、施設分野・業務、登録要件等を確認し、登録申請するか否かについて検討を行う。

#### (4) 試験検討 WG —RCCM 試験の CBT 方式化—

令和 2 年度の RCCM 試験は、コロナ禍のため中止。

令和 3 年度は RCCM 試験を実施することを念頭に、コロナ禍の下で試験を実施する方策を検討した。

CBT 試験実施業者へのヒアリング、見積もり聴取を実施。RCCM 試験の権威を保ちつつ CBT 化が可能な業者の選定を行った。

#### (5) RCCM 登録に必要な CPD 単位の変更

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 年度（令和 2 年 4・1・）に予定していた RCCM 登録に必要な CPD 単位の「200 単位/4 年」（現行 100 単位/4 年）への変更を、当面の間、見合わせた。

講習会の中止など CPD 単位取得への影響を考慮し、令和 3 年度以降の運用を以下の通りとした。

令和 3 年 4・1・以降、150 単位/4 年。

令和 7 年 4・1・以降、当初規定どおり 200 単位/4 年。

### 2. 次年度の活動について

① RCCM 資格制度に関する課題について、基礎データの収集、関連する委員会等との調整・協議等を進め、検討する。

- ・建設コンサルタントの新たな資格制度。
- ・アンケート結果に基づく Web 講習会のあり方及び講習会コンテンツの更新方法。
- ・RCCM 試験への口頭試験の導入や、民間技術者資格取得への対応をも考慮した試験問題の配分。
- ・国土交通省技術者資格登録制度への対応。
- ・RCCM 資格の更新登録に必要なとする CPD 単位の変更についての周知。

② RCCM 資格制度にかかる規定の改定を検討する。

③ 受験や登録に関して疑義の生じた場合に当該事案を審査する。

（RCCM 資格制度委員会委員長 熊谷 清）